



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年5月31日



合同企業説明会

加でできなかったり、参加しても学生が大手企業に流れるなど、企業単独での人材確保が非常に困難で、共通の経営課題となっていた。

そこで同協議会では、卸団地そのものや組合員企業の知名度向上、採用機会の拡大を図るべく共同求人活動に取り組むことにし、このたびの青森公立大学での合同企業説明会の開催に至った。

当日は、各卸団地から卸売業や小売業、自動車販売業、サービス業など様々な業種の組合員企業が参加。学生は講義やゼミの合間を縫って会場を訪れ、各ブースでは、時間ぎりぎりまで企業担当者の説明に耳を傾けていた。

参加した学生からは「今まで知らなかった地元企業の話を知ることができ、とても有意義だった」との感想が聞かれた。また、参加した企業の担当者も「学生との接点を増やすことは非常に重要で、今後このような機会を継続してほしい」との声が寄せられた。

同協議会では、今後も青森公立大学のほか青森中央学院大学、青森大学でも合同企業説明会を開催する予定である。また、大学生と企業経営者・幹部との交流会も計画しており、組合員企業の求人活動を支援していく。

青森県流通団地連絡協議会が主催する合同企業説明会が4月24日(水)、青森公立大学1階交流ホールで開催された。説明会には同協議会に所属する16社の組合員が参加した。同協議会は、会員の資質向上と相互研鑽を図り商工業の発展に寄与することを目的に1987年に設立。現在は、当組合のほか、青森卸売業協、協八戸総合卸センター、協八

戸流通センター、弘前流通団地協の5つの卸団地によって構成され、共通する様々な課題について連携して取り組んでいる。

近年、少子化や景気回復を背景に人材採用は売り手市場となっており、特に中小企業にとっては優秀な人材の確保が難しい状況となっている。同協議会に所属する組合員企業でも、合同企業説明会に参

組合員企業の求人活動を支援 合同企業説明会開催

合同企業説明会開催



合同企業説明会 PRポスター

2018年度リサイクル事業収益金を寄贈

組合ではこのたび、2018年度のリサイクル回収事業で得られた収益金を福祉団体等へ寄贈した。

4月16日(火)にはパソコンリサイクル回収で得られた収益金3万円を、パソコンの解体作業を行っている青森市の障がい者施設に寄付した。大平環境対策委員長が同施設を訪れ、目や耳が不自由な者でも細かな作業をする障がい者の様子を見学し、激励の言葉をかけた。

また、4月17日(水)には青森市社会福祉協議会へ、空き缶・ペットボトル等回収で得られた収益金5万円を贈った。当日は組合の西理事長が同協議会を訪れ、前田会長は目録を手渡した。西理事長は前田会長にこれまで組合が取り組んできたリサイクル回収事業について説明。今後も回収事業を継続し、寄付活動も続けていくと話した。



目録を手渡す西理事長(右)



施設を訪れ激励する大平委員長(左)

第52回通常総会の提出案件 など承認 第1回理事会

2019年度第1回理事会が4月23日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは2018年度塵芥収集及び紙類リサイクル等の回収実績、交通事故実態調査結果について報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一 組合員施設の賃貸について

案件二 組合員跡地買取資金の借換について

交通事故実態調査まとめ

青森交通安全協会問屋町支部が毎年実施している交通事故実態調査の2018年度調査結果がまとまった。

調査の結果、2018年度の加害事故件数は61件で、前年度の83件より減少。被害事故件数は46件と前年度の39件を上回る結果となった。また、問屋町内での事故件数は本調査及び組合が把握しているものも含め8件発生した。

加害事故要因についての調査では、例年同様「前方不注意」が23件と主要因の38%を占めて最多であった。また、近年はなかった「居眠り運転」を要因とする事故も発生



問屋町内交通事故発生箇所

今年9月22日には問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日を達成する予定となっている。同支部及び組合では、今回の調査結果も参考に、交通事故撲滅に向け、より一層の安全運転啓蒙活動を続ける。

2018年度リサイクル回収実績

2018年度のごみリサイクル回収実績がまとまった。ごみリサイクル率(総排出量に占める各種リサイクル回収量合計の割合)は66・9%と

昨年同様に高いリサイクル率を維持した。

組合では、紙類をはじめ、空き缶・ペットボトル、木製

案件三 第52回通常総会の提出案件について

理事会終了後には、青森卸センター及び青森問屋町配送(株)の取締役会も開かれ、審議の結果、提出案件全てが原案どおり承認された。

パレット、パソコンなど、幅広くリサイクル回収を実施。昨年4月には、処分方法の厳格化により一度は回収を休止した蛍光灯回収事業を再開するなど、事業所が個別に処分するには難しいものをできる限りサポートしている。

一方、青森県のリサイクル率は15・0%(2017年度)で全国41位と低迷。全国平均の20・2%を大きく下回っている。

組合では引き続き、リサイクル回収事業の推進に努め、組合員をサポートするとともに本県のリサイクル率向上に貢献していく。

血管年齢計を新たに設置

問屋町会館ロビーに常設している「とんやまち保健室」に、血管年齢計が新たに追加された。血管年齢計は、指先をセンサーに乗せるだけで簡単に血管老化度が測定できる。

また同保健室では、フィットネスクラブと同等の本格的な測定ができる体組成計や全自動血圧計も設置している。

測定器は、問屋町会館の営業時間内(午前8時30分～午後5時30分)であれば誰でも利用可能となっており、体調管理や健康づくりに活用いただきたい。



血管年齢計

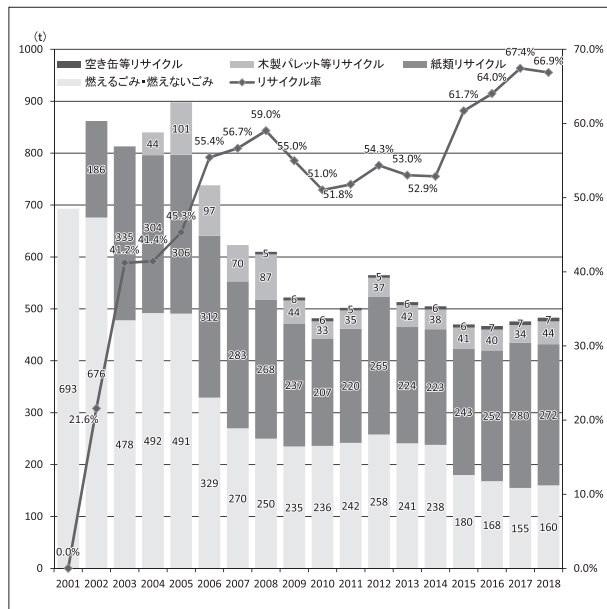
大星神社祈年祭・観桜会

4月27日(土)、大星神社で祈年祭が執り行われ、敬社协会会员や関係者ら80名あまりが参加し、五穀豊穡や地域の安泰を祈願した。当日はあいにくの曇り空で肌寒くあった



見事な枝ぶりのシダレザクラ

が、終了後催された観桜会では、満開のシダレザクラや境内を彩るソメイヨシノを眺め、花見に興じた。同時期には桜のライトアップも行われ、訪れた人は、闇夜に鮮やかに浮かび上がる樹齢300年を超えるシダレザクラに魅せられていた。



リサイクル回収実績 (2001年度～2018年度)

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します



藤村機器株式会社
青森支店 TEL 017-739-4551
FAX 017-739-4145
弘前・八戸・大館・仙台・秋田



総合食品卸

丸大堀内株式会社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号
電話 017-738-4311

協青森総合卸センター
新規採用職員のお知らせ

▽新規採用
総務部総務課 伊藤 舞
(4月1日付)

問屋町たんしん

問屋町会館開催健康診断日程
のお知らせ
▽第1回集団健康診断
日時 6月11日(火) 13時
13日(木)

主催 (一社) 青森地区労働基準協会
社協会青森県支部
▽問屋町地区健康診断

経済雑感 第九十五回
青森県商工会連合会
専務理事 小山田 康雄

前号に引き続き、青森県商工会連合会の小山田専務理事による経済雑感をお送りする。

「経済雑感らしく」を言いつい、とりとめのない感想・私見を述べることをお許しいただきたい。
先日、国政与党の有力者が「これからの景気動向によって消費税率アップの延期、衆議院解散の可能性がある」旨の発言をしてマスコミを賑わした。これには驚いた。多くの事業者が10月に予定される消費税率増税・軽減税率導入等への対

日時 6月25日(火)
7月9日(火)
8月7日(水)
8時~11時

主催 (一社) 青森地区労働基準協会
(一財) 全日本労働福

▽第2回集団健康診断
日時 10月8日(火) 11日(金)

主催 (財) 青森県総合健診センター
8時30分~正午

※協会けんぽの生活習慣病予防健診を受診できるのは左記の日程のみとなります
6月11日(火)、7月9日(火)、8月7日(水)、10月8日(火)

業務報告

主要事項

- 4月 5日▽東北卸団地連絡協議会幹事会
- 9日▽あおもりコンピュータ・カレッジ入学式
- 11日▽第1回問屋町合同清掃
- 15日▽金融審査会
- 16日▽パソコンリサイクル回収収益金寄付
- 17日▽第1回三役会
- ▽空き缶等リサイクル回収収益金寄付
- 22日▽会計監査
- 23日▽第1回理事会
- ▽青森卸センター(株)第1回取締役会
- ▽青森問屋町配送(株)第1回取締役会
- 24日▽県流通団地連絡協議会合同企業説明会
- 26日▽市健康寿命延伸会議総会
- 27日▽大星神社祈年祭・観桜会
- 25日▽Y's CLUB オープンカレッジ

問屋町
ビジネススクール

応に追われる中の発言。果たしてこれは「政治一問題なのか」「経済」問題なのか。浅学非才の我が身にはその区別はつかないが、法律上は厳然たる違いがあるらしい。経済団体の多くは法令等で「政治的中立」を求められている。読者の中にも「政治的なことはあまり・・・」と考えている方が少なくないのでは。商工会法第6条にも「商工会は、これを特定の政党のために利用してはならない」とある。しかし、同法第11条には「商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議する」とある。これを根拠に、毎年開催する商工会全



青森県商工会連合会
専務理事
小山田 康雄 氏

国大会に「政府・各政党」の代表者クラスを招き、政策提案を主な内容とする意見表明が行われている。その結果、数多くの施策が具現化されている。多くの識者から、合法的で実り多い「政治的活動」だ。戦後の人口増加・高度経済成長、そしてオイルショックや円高不況等を乗り越えてのバブル経済、いわゆる「右肩上がり」の時代には、経済政策の根幹は国政に委ねておけばよかった。護送船団方式下での経済活動で生み出された膨大な富に対しては、均衡ある国土の発展・景気対策の名の下、この道あつた公共事業を中心に「適切な再配分」を求めてきた。

だが、時代は大きく変わった。今は「右肩下がり」の時代。我が青森県も2045年には現在の3分の2の82万人程度になるとの予想も。県内には後継者が決まっていらない事業者が相当あり、特に町村部では過疎化の進行と相まって、現在年1・4%程度の事業所減少率がさらに加速する恐れがある。この地域社会が抱える深刻な課題に対して我々は第三者ではない、政治的に求められるのは、「政治的センス」を身に纏い、地域の声を耳を傾けその未来を真剣に考え行動する経済人なのではないか。私も「浅学非才」などと言いついばかりしてられない。

(六元)

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売

ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00
定休日 土・日曜、祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6 0120-404-303
TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881

ミリオン健康ランド <http://www.t-mirion.co.jp/>

お気軽にご相談ください。オリジナルサプリメント製品をデザイン設計から製造まで一貫して行います。試作・小ロット・大ロットまで対応。

雑貨のあるガーデニングショップ

Leaf

リーフ (by だいいちぞうえん)

お庭の設計(CAD)・施工・管理
青森市大字荒川字柴田60-11 TEL 017-718-7830

地域をつつみ、夢を繋げる
30th ANNIVERSARY

(一財) 青森市産業振興財団

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4番1号
TEL (017) 739-1811 FAX (017) 739-1800
<http://sangyokaikan.com/>

会講・研修スポーツ・レクリエーション施設

青森市はまなす会館
青森市勤労者互助会

見本市と展示会の
青森産業会館
青森県調理師会

〒030-0131 青森市問屋町一丁目10-10
(はまなす会館) TEL 017(738)4821 (勤労者互助会) TEL 017(764)5061
FAX 017(728)2162 FAX 017(764)5062

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1
(産業会館) TEL 017(739)1811 (県調理師会) TEL 017(739)7337
FAX 017(739)1800 FAX 017(739)1800

問屋町で春の職域清掃

4月11日(木)、今年度1回目の問屋町合同清掃が行われ、組合員及び近隣企業合わせて236名が参加した。当日は雪の中から現れた大量のごみや折れた街路樹の枝など軽トラック約2台分が回収された。

問屋町合同清掃は、4月から10月までの毎月第2木曜、全7回開催。朝8時から20分ほど、ごみ拾いや草刈りを実施している。活動は2002年からスタートし、今年で18年目を迎える。初年度の1回あたりの平均参加者数は47名であったのが、昨年は219名まで増加し、これまで延べ1



問屋町合同清掃



多くのごみが拾い集められる



ユアテック清掃活動

万7千人以上が参加している。参加者は年々増加するのにも反比例して落ちてきているごみの総量は減少傾向にあり、合同清掃を通じて問屋町の景観美化意識の高揚が図られている。また、5月7日(火)には

春の恒例行事となっている、(株)ユアテックの地域清掃活動が行われた。当日は、青森支社及び青森営業所と関係会社の従業員145名により、同社周辺から問屋町大通りまでの広範囲にわたってごみ拾い

が行われた。同社はこのほか、組合で実施している問屋町緑のボランティア隊の活動にも積極的に参加しており、問屋町の景観美化推進に大きく貢献している。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)リンクステーションの大嶋社長にお話を伺った。

同社は2003年に設立し、主にASP型票券システム「Gettiii/ゲッティ」の開発・運用や、青森県内のお店紹介・イベント情報などを集めたポータルサイト「ポみっと」の運営などを行っている。

「青森を拠点に全国のチケット販売管理をトータルサポートするGettiiiは、プレイガイドを通してチケット販売を行う従来の方法に対し、イベント主催者様のホームページから直接販売することが出来るため、より手軽に多種多様な方法でお客

様に販売でき、ネット環境さえあれば外出先でのアクセスも可能となります。またセブンイレブン店舗で24時間いつでもチケット受取と代金支払いが出来るため、より便利で安心なチケット販売サービスを展開できます」とアピール。



リンクステーション代表取締役社長 大嶋 憲通

今年2月に同社社員が、今後は女性が活躍していく時代になっていくと考えています。3月に移転した本社では女性が働きやすい環境を整えるため、カフェの設置やトイレにも力を入れ働く女性を応援していきます」と話す。

「走るのが好きで毎年12月にはホルルマラソンに参加しています。途中で止めたくなりませんが、弱音を吐く経営者失格だと思います。42kmを走走しています。私は、人は常に平等と考えており、個々に差があってもどこかでカバーできると信じています。社会でも役職は違うが人の価値は一緒で、常に謙虚であること意識しています」と語る。

今年2月に同社社員が、今後は女性が活躍していく時代になっていくと考えています。3月に移転した本社では女性が働きやすい環境を整えるため、カフェの設置やトイレにも力を入れ働く女性を応援していきます」と話す。

今後は取組みについて聞くと「タクシー会社の効率性とお客様の利便性向上を考えたタクシー需要予測システムを開発中です。配

要予測システムを開発中です。配

編集後記

求人活動が地方の企業にとってこれほど深刻化するのは、アベノミクス前にはなかったことです。これまでの就職問題の焦点は「求職」でしたが、「転職」求人になりました。求人難の原因は、少子化より経済の好転にあると思います。ですから景気次第では「求職」へ逆転もありえます。ともあれ今は求人難。「合同企業説明会」が、組合員企業の一助となることを願っています。転話題。今回は歴史・文化テーマから「津軽三十三観音巡り」についてです。津軽に三十三の観音霊場がつけられたのは藩政時代初期(17C)の頃とされています。江戸時代も50年を過ぎると、街道往来も便利になり、観音信仰の頂点である「西国三十三所」(関西圏)巡りが、四国八十八所と並び大流行しました。津軽からもおびただしい巡礼者が西国を目指したそうです。の中には巡拝の各霊場から土を持ち帰る者もいて、津軽にある観音寺堂から三十三所を選んでこの土を埋め霊場としたそうです。観音巡礼としては、「西国三十三所」のほか「坂東三十三所」と「秩父三十四所」が有名ですが、これを日本百観音といえます。この百観音は例外なく全て寺院にありますが、吾が「津軽三十三観音」は、何と、半数を超える18所が神社なのです。これは、明治初期の神仏分離令・廃仏毀釈にかかわらず、吾が辺境津軽では江戸時代そのまま神社に観音様をお祀りしてきたという全国的にも極めて珍しいことなのです。

青森の人は不思議に思わず、他県の人は神社の観音様は知りません。以前から私は貴重な観光文化資源とっていました。(藤本)

一番・リンクタクシー

福祉車両 活躍中!

ご利用の際は、「福祉車両希望」とお知らせの上ご予約ください。



2019年2月1日に引越しました! >>> 〒030-0131 青森市問屋町 1-5-4

*UD タクシーとは、広い開口部にスライドステップを備え、車いすのまま乗車できるなど誰もが使いやすいタクシー車両です。一般タクシー料金でご利用頂けます。



配車 050-5433-2564 0120-940-550